

能登半島地震は終わっていない。万全の対策急げ

市議会全員協議会で対策強化求める声、相次ぐ

能登半島地震に関する市議会全員協議会が7日、開催されました。全員協議会では、まず市側が今回の地震による市の被害状況、避難所の開設状況、被災者生活支援、事業者支援、今後の課題などについて説明しました。それを受けて議員側は約1時間半質問を行いました。

議員からは、「津波の避難対象は対象地域全員のはず。避難場所の運営管理はどうなっていたか」「地震はいつやってくるかわからない。地域防災計画の見直しはスピード感をもって行うべきだ。いつぐらいまでにやるのか」「指定避難所であっても鍵が開かない。担当職員がこれないところもあった。地震が来たときにどこまでやっていいのかなど、すぐ伝えてほしいものがある」「避難所のうち、職員がさっと開けたところが幾つ、避難者が、門前で待っているところで開けたというのが幾つ、施設管理者が開けたというのが幾つか明らかにしてほしい。また、指定避難所の担当職員さん、避難所の開設訓練をきちりとされているか」「指定文化財及び及び国登録有形文化財の復旧支援をどうしていくか」などの質問が相次ぎました。

行政側の答弁は個々には書きません

が、全体として、避難所、避難場所などの状況把握はまだ時間がかかりそうだと受け止めました。次の大地震がすぐ来るかもしれないという情報があるなかで、対策は急いでほしいですね。

私からは、「市長の「万全だった」発言の背景には情報が市長に届いていない面もあるのではないか。議会にしっかり説明すべきだ」「今後の課題検討に原発の重大事故時の避難計画（見直し）がないのはおかしい」「大島区板山地内の県道崩落、未だに交通止め解除未定では納得できない。もっと情報を出し、一時も早く復旧させてもらいたい」と訴えました。

これにたいして担当部長は、「その後、市長は対策本部会議などで課題もあるという認識で動いている」「原発のことは、極めて重大な、喫緊の課題を突きつけられたと認識している。今後市町村研究会を通じて、広域的な視点、共通認



識、共同の連帯を持って、対処していく」「板山の道路は3月上旬に国の災害査定が予定されている。現在、復旧方法についての設計及び積算を実施している。本市としても来年の降雪期前までに終わらせるよう、強く要望している」と答えました。

今後の動きを注視し、さらなる働きかけをしていきます。



【タネツケバナ】（再掲）アブラナ科の越年草または一年草。漢字で「種漬花」と書きます。種もみを水につけるころに白い花を咲かせることから付けられた名前とか。私は長年に渡り種付花と覚えていました。それも間違いではなさそうです。花期は3月から5月です。花言葉は「不屈の心」「勝利」「情熱」など。写真の花は、1月30日、大湊区四ツ屋浜にて撮りました。

新春のつどいで議会報告

4日に吉川区で行われた新春のつどいで、馬場秀幸県議と私がそれぞれ議会報告をしました。

このうち馬場県議は、震災や干ばつ被害などで日本共産党市議団と共に現地調査に入ったこと、行政にも働きかけを行ったことなどに触れながら、政治には人間としてのやさしさが必要だのべ、私の活動を紹介してくださいました。

私は、水害としては戦後最大級だった新潟福島豪雨災害などで党派を超えた共同を重視して被災者の願いにこたえてきたことや頸北斎場廃止にストップをかける議会論戦をしてきたことなどを振り返りながら、「災害が特にそうだが、現場を自分の目で見ることで、困っている人に寄り添って、とことん頑張ること」「しっかりと調査研究して、理路整然とした論戦をしていくこと」を大事にしてきたとのべました。

そして今後の課題として、原子力災害での避難計画の抜本的な見直し、若者が安心して働くことができ、労働環境づくり、子育て支援、さらには「地域崩壊を救うためには地域農業を守る」ことが最重要課題だと訴えました。



この日のつどいでは、朗読ボランティアの小田順子さんが私の最新エッセイ集『春になったら』の中からグループホームに住んでいた叔父への思いをつづった1篇を朗読してくださいました。また昨年夏に『詩の花束』という詩集を出版された山田護さんが「人生これからさ」という詩を披露してくださいました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2145 2024.2.11

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL https://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七九二回 ほったらかし

カボチャを割らないで、そのままにしておくと、カボチャの内部でタネが芽を出すことがあるんですね。先日、初めて知りませんでした。

教えてくれたのは友人のお連れ合いのHさんです。先日の夕方、今年初めて友人宅を訪れたときのことでした。

カライモ（キクイモが正式名称）とソウメンカボチャの漬物をご馳走になり、「この菌ごたえがなんともいえないね」「おれ、この粕漬けが大好きなんだわ」などと言っていたら、Hさんが、「ソウメンカボチャの芽が出たんだわ。モヤシみたいになっっているけど、橋爪さん、見てみなる」と言いました。

そう言われたものの、私は何のことかさっぱりわかりませんでした。たぶん、私の顔もそういう顔になっていたのじゃないかと。Hさんは、「カボチャの中で芽が出たの」と言いながら、台所の方へ行きました。私に実物を見せようと思ったのです。

台所から出てきたHさんは、四角のお盆にソウメンカボチャを真っ二つにしたものを四個載せて居間に運んできました。テーブルの上に置かれたソウメンカボチャを見て驚きましたね。それぞれのカボチャの中心部には大豆のモヤシと同じ形をしたものがグチャグチャに入っていて、つながっていたのです。

そもそも、私にはソウメンカボチャは畑の土の中で芽を出すイメージしかありませんでした。それだけに、カボチャの中心部で芽を出し、モヤシ状態となっていることが信じられませんでした。

Hさんによると、ソウメンカボチャは夏に収穫したものだそうです。それから半年は経っているわけですが、まだ、カボチャの黄色い本体はしっかりしています。でもこの半年の間にカボチャのなかでは新しい動きがはじまっていたのですね。

Hさんは、この状態をわかりやすく説明するために、タネが芽を出し、どんどん長くなっていくものを一本、別にしてくれました。伸びた芽の長さは二五センチほどになっていました。太陽の光が届かないなかにあっても生きんがためにどんどん伸びていく、その姿はとても新鮮でした。

ソウメンカボチャの実際の姿を見た私はうれしくなって、スマホのカメラで何枚も撮影しました。初めて見たソウメンカボチャの本体の中での発芽の状況を全国に発信しようと思ったのです。

家に戻ってから、フェイスブックにて写真付きで発信しました。「夏に収穫したソウメンカボチャ（金糸瓜）が体内でタネから芽を出している様子です。見せてくれた人は初めて見たとのことでした。私も初めて見ました。まさに、「話のタネ」ですね」という言葉を添えて……。

すぐに反応がありました。「うちの糸瓜も年末に切ったら種から芽が出るのありました」「すごい生命力ですね」「ひえーっ」「私、毎年のようにみえています。それだけ、毎年毎年、夏に買った糸瓜をほったらかしておく……ということですね」「実は我が家もこれまでいくつもありましたが、みた時は、スゲーな〜って感心しました」などのコメントが次々と寄せられました。

寄せられたコメントでは一人の人が書いた「ほったらかし」という言葉が連鎖反応を起こしました。「私も見たことあります。ほったらかししていた組（笑）」「ほったらかしでもいいことあるんですね」「私もほったらかし組、毎年義妹から頂くのですが……」と続いたのです。

コメントにもありましたが、「優しい発見や発明は失敗やひらめきから」です。「ほったらかし」のおかげでこんなに楽しく、興味深い発見につながると……。

餅つきなどを楽しむ…あさひ雪あそび

2月3日午後からは大島区田麦の庄屋の家前の広場などで開催された「あさひ雪あそび」を見に出かけました。

私が会場に着いたときはちょうど餅つきの最中でした。小さな子どもが2人いて、みんながその子どもたちに目を向けていました。

餅つきが終わってからは、いろいろのある大きな部屋で餅を「馳走」になりました。出していたものは餅の入った汁粉、黄な粉餅の2つです。どちらも美味しくいただきました。また、イノシシの肉もいただきました。肉はかたいかなと思ったのですが、やわらかくて美味しいのでびっくりしました。

食事をしたときはkさんやMさん「のうの」（母の実家の屋号）のそばだったので、写真のことやことなどで楽しい話をしました。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月31日(水)	2月7日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.043	0.053
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.050	0.050

春よ来い

第七九二回 ほったらかし

カボチャを割らないで、そのままにしておくと、カボチャの内部でタネが芽を出すことがあるんですね。先日、初めて知りませんでした。

教えてくれたのは友人のお連れ合いのHさんです。先日の夕方、今年初めて友人宅を訪れたときのことでした。

カライモ（キクイモが正式名称）とソウメンカボチャの漬物をご馳走になり、「この歯ごたえがなんともいえないね」「おれ、この粕漬けが大好きなんだわ」などと言っていたら、Hさんが、「ソウメンカボチャの芽が出たんだわ。モヤシみたいになっっているけど、橋爪さん、見てみなる」と言いました。

そう言われたものの、私は何のことかさっぱりわかりませんでした。たぶん、私の顔もそういう顔になっていたのでは？う。Hさんは、「カボチャの中で芽が出たの」と言いながら、台所の方へ行ききました。私に実物を見せようと思ったのです。

台所から出てきたHさんは、四角のお盆にソウメンカボチャを真っ二つにしたものを四個載せて居間に運んできました。テーブルの上に置かれたソウメンカボチャを見て驚きましたね。それぞれのカボチャの中心部には大豆のモヤシと同じ形をしたものがグチャグチャに入っていて、つながっていたのです。

そもそも、私にはソウメンカボチャは畑の土の中で芽を出すイメージしかありませんでした。それだけに、カボチャの中心部で芽を出し、モヤシ状態となっていることが信じられませんでした。

Hさんによると、ソウメンカボチャは夏に収穫したものだそうです。それから半年は経っているわけですが、まだ、カボチャの黄色い本体はしっかりしています。でもこの半年の間にカボチャのなかでは新しい動きがはじまっていたのですね。

Hさんは、この状態をわかりやすく説明するために、タネが芽を出し、どんどん長くなっていくものを一本、別にしてくれました。伸びた芽の長さは二五センチほどになっていました。太陽の光が届かないなかにあっても生きんがためにどんどん伸びていく、その姿はとても新鮮でした。

ソウメンカボチャの実際の姿を見た私はうれしくなって、スマホのカメラで何枚も撮影しました。初めて見たソウメンカボチャの本体の中での発芽の状況を全国に発信しようと思ったのです。

家に戻ってから、フェイスブックにて写真付きで発信しました。「夏に収穫したソウメンカボチャ（金糸瓜）が体内でタネから芽を出している様子です。見せてくれた人は初めて見たとのことでした。私も初めて見ました。まさに、「話のタネ」ですね」という言葉を添えて……。

すぐに反応がありました。「うちの糸瓜も年末に切ったら種から芽が出るのありました」「すごい生命力ですね」「ひえーっ」「私、毎年のようにみえています。それだけ、毎年毎年、夏に買った糸瓜をほったらかしておくと……ということですね」「実は我が家もこれまでいくつもありましたが、みた時は、スゲーな〜って感心しました」などのコメントが次々と寄せられました。

寄せられたコメントでは一人の人が書いた「ほったらかし」という言葉が連鎖反応を起こしました。「私も見たことあります。ほったらかししていた組（笑）」「ほったらかしでもいいことあるんですね」「私もほったらかし組、毎年義妹から頂くのですが……」と続いたのです。

コメントにもありましたが、「優しい発見や発明は失敗やひらめきから」です。「ほったらかし」のおかげでこんなにも楽しく、興味深い発見につながりました……。

餅つきなどを楽しむ…あさひ雪あそび

2月3日午後から大島区田麦の庄屋の家前の広場などで開催された「あさひ雪あそび」を見に出かけてきました。

私が会場に着いたときはちょうど餅つきの最中でした。小さな子どもが2人いて、みんながその子どもたちに目を向けていました。

餅つきが終わってからは、いろいろのある大きな部屋で餅をご馳走になりました。出していたものは餅の入った汁粉、黄な粉餅の2つです。どちらも美味しく



ただしかったです。また、イノシシの肉もいただきました。肉はかたいかなと思ったのですが、やわらかくて美味しいのでびっくりしました。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月31日(水)	2月7日(水)
上越南消防署	0.053	0.053
上越北消防署	0.043	0.053
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.060
高士分遣所	0.050	0.050



『春になったら』発刊

11冊目となる最新エッセイ集『春になったら』をこのほど発刊しました。最新エッセイ集には、身近な所で聞いた素敵な話がいくつも入っています。定価は税込で1650円。ご希望の方はアマゾンで購入するか、私に直接ご連絡(携帯090-5392-1961)ください。